

## 滞在型研究員報告書

国立天文台滞在型研究員の方には、期間中の成果について報告をしていただくことになっております。このフォームに記入のうえ、滞在期間終了後 2 週間以内に受入責任者を通じて国立天文台総務課研究支援係へご提出ください。枠の大きさは随時変更して構いません。

なお、この報告書は研究成果の論文掲載前でも研究交流委員会の web 上に公開することがありますので、研究内容の詳細について記入していただく必要はありません。この研究の成果を学術誌等で発表するときは、その旨を謝辞に記載してください。

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 所 属     | 新潟大学大学院自然科学研究科                   |
| 氏 名     | 斉藤 高大                            |
| 受入責任者氏名 | 高橋 竜太郎                           |
| 滞在期間    | 2014 年 10 月 1 日～2014 年 10 月 24 日 |

1. 滞在型研究員として国立天文台滞在中に行った活動について簡単にお書きください。

KAGRA で用いるインพุットモードクリーナー(IMC)のサスペンションの組立及び伝達特性の測定を行った。作業は ATC のクラス 1 クリーンルームの中で行い、ルーム内の準備、部品の洗浄などにも携わった。

2. 今回滞在型研究員として得られた成果について簡単にお書きください。

KAGRA で用いる IMC サスペンション全 3 台を組み立てあげることができ、その伝達特性を明らかにすることができた。伝達特性の測定のためのセンサの較正も行い、アクチュエータ効率の評価も行うことができた。これらは KAGRA での使用の際に必要な基本データとなる。

3. この制度について何か御意見がありましたら、お書きください。

長い期間、滞在することができるので、ある程度まとまったタスクを遂行でき、良いと感じた。申請書提出により、具体的なタスク内容を受入者と続けることができる点が良いと思った。